

# いのちの言の葉2010

富山県教育委員会 平成 22 年度いのちの教育総合支援事業

## 「生んでくれてありがとう」

富山市立神通碧小学校全校児童  
平成 22 年 9 月 24 日実施

## 【いのちの先生】

野澤 昌子先生  
・たんぽぽ助産院院長

### 【授業の概要】

- 1 「いのちの先生」の紹介と導入
- 2 いのちの先生の話
  - (1) 助産師の仕事
  - (2) 生命の始まりと生まれるまでの胎児の様子
  - (3) 胎児の心音、妊婦さんの気持ち
  - (4) 出産したときの様子や気持ち、子どもを育てている今の気持ち
  - (5) 紙芝居「生まれてきてくれてありがとう」
- 3 感想記入

子どもたちは、生命誕生の説明や妊婦さんや赤ちゃんを産んだお母さんの話を聞くこと、紙芝居等を見ることを通して、自分が奇跡のような確率で存在していることや、家族や周囲の人たちに待ち望まれて生まれ、大切に育てられてきたことを実感し、家族への感謝の気持ちをもつことができた。



### いのちの授業を受けての児童の感想

- お母さんは、私をがんばって産んでくれたのだなあと思いました。助産師さんに、あなたもがんばって生まれてきたのだと言われ、びっくりしました。(2年児童)
- ママがぼくを産んでくれなかったら、今のぼくはいません。しつけをし、言葉を教え、悪いことはおこってくれてありがとう。ぼくは生まれてから楽しいことがいっぱいありました。産んでくれてありがとう。(3年児童)
- いのちはすごくすばらしいもので、大切なものなのだと思います。いつも何気なく生きていたけれど、生きていることはとてもうれしいことなのだと思います。(5年児童)
- 私は、大切なことを二つ学びました。一つめは自分がどれだけ大切にされているかです。家族が私の誕生を今か今かと待ち望んでくれたかと思うととてもうれしいです。二つめは、いのちが生まれた時の感動です。新しいいのちの誕生は、家族みんなを最高の笑顔にすることを学びました。(6年児童)